

視察報告書

民友クラブ 神谷文明

令和5年10月25日(水)～26日(木)

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム

会場：北九州市 西日本総合展示場 新館



目的・概要

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」との大会テーマで全国から今、注目の講師を招き、全国各市議会議長をはじめ議会関係者と共に、全国的な課題を考察し共有するために参加した。

1日目 10月25日(水) 13:00～16:50

○基調講演 「躍動的でワクワクする市議会に」

元・鳥取県知事 片山善博氏

○パネルディスカッション

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」

コーディネーター 谷 隆徳（日本経済新聞社編集委員）

パネリスト 勢一智子（西南学院大学法学部教授）

辻 陽（近畿大学法学部教授）

濱田真里（女性議員のハラスメント相談センター
共同代表）

田仲常郎（北九州市議会議長）

2日目 10月26日(木) 9:00~11:00

○課題討議

「議員のなり手不足問題への取り組み報告」

コーディネーター 江藤俊昭（大正大学社会共生学部公共政策学科）

事例報告者 辻 弘之（登別市議会議員）

たぞえ麻友（目黒区議会議員）

永野慶一郎（枕崎市議会議員）

所感

基調講演をしていただいた、片山善博氏の学校教育が良くならないのは、教育委員会が変わらないからで、教育委員会を変えるのは教育委員でその人事を最終的に決めているのは各市議会議員であるので、委員の選任をもっと考えればバタフライ効果で激変するはずだ。との主旨の発言が心に残った。

2日目の議員のなり手不足の件は、どこの市議会も同じ悩みであると共有できた。